令和６年度
スポーツ交流施設管理運営業務報告書
（事業報告書）

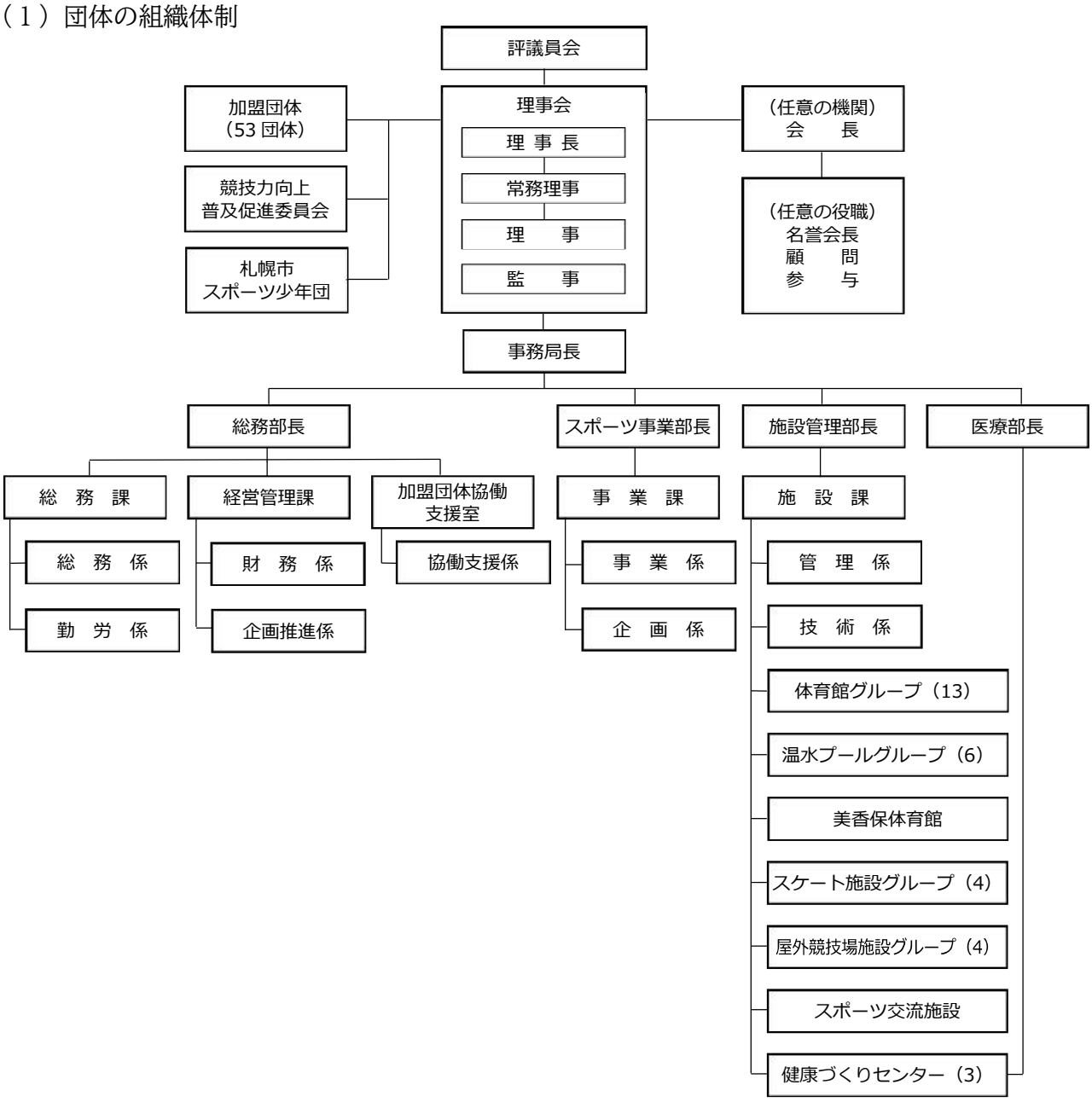
札幌市スポーツ交流施設指定管理者
一般財団法人札幌市スポーツ協会

目 次

１　総括管理運営業務 2
（１）団体の組織体制 2
（２）職員の採用 2
（３）研修の実施状況 3
（４）運営協議会の実施 5
（５）収支報告 6
（６）セルフモニタリングの実施状況 6
２　施設・設備の維持管理に関する業務 8
（１）防災業務 8
（２）事故対応に関する業務 8
（３）清掃業務 8
（４）警備業務 8
（５）設備維持管理及び保守点検 8
（６）設備運転管理業務 9
（７）修繕対応状況 9
３　事業の計画及び実施に関する業務 9
（１）施設を戦略的に活用した事業 9
（２）市民サービス向上 14
（３）障がい者スポーツの普及 15
４　施設の利用に関する業務 16
（１）施設利用者数 16
（２）種目別利用実績 16
５　自主事業の実施状況 17
（１）新たな自主事業の実績 17

1　総括管理運営業務

（１）団体の組織体制



（２）職員の採用

職　種	採用方法
総合運営職員	【対　象】在籍中の職務限定職員・契約職員 【選　考】一次試験（筆記、論文試験、適性検査）：令和５年 11 月 27 日 二次試験（面接）：令和５年 12 月 18 日～20 日 【採用数】４名（令和６年４月１日採用）※うち２名職務限定職より転任
職務限定職員 （水泳指導）	【対　象】一般公募 【選　考】一次試験（書類審査）：令和５年７月 31 日～８月２日 二次試験（筆記・小論文・適性検査）：令和５年８月 13 日 三次試験（面接・実技試験）：令和５年８月 27 日 【採用数】３名（令和６年４月１日採用）

職　種	採用方法
職務限定職員 （運営職）	【対　象】在籍中の契約職員 【選　考】面接試験：令和６年1月22日・25日・26日 【採用数】８名（令和６年４月1日採用）
職務限定職員 （作業職）	【対　象】在籍中の契約職員 【選　考】面接試験：令和６年1月22日・25日・26日 【採用数】４名（令和６年４月1日採用） 【対　象】一般公募 【選　考】一次試験（書類審査）：令和６年1月22日～1月24日 二次試験（筆記・小論文・適性検査）：令和６年２月４日 三次試験（面接）：令和６年２月18日 【採用数】４名（令和６年４月1日採用）
職務限定職員 （運動指導職）	【対　象】在籍中の契約職員 【選　考】面接試験：２月６日・８日・９日 【採用数】11名（令和６年４月1日採用）
職務限定職員 （医療職）	【対　象】在籍中の契約職員 【選　考】面接試験：２月６日・８日・９日 【採用数】３名（令和６年４月1日採用）
契約職員	【対　象】一般公募 【選　考】※一次募集 一次試験（書類審査・小論文）：令和６年２月28日 二次試験（WEB適性検査）：令和６年２月29日～３月７日 三次試験（面接）：令和６年３月10日 【選　考】※二次募集 一次試験（書類審査・小論文）：令和６年８月26日～９月３日 二次試験（WEB適性検査）：令和６年９月４日～９月11日 三次試験（面接）：令和６年９月14日 【採用数】18名（令和６年４月1日採用） ６名（令和６年10月1日採用）

（３）研修の実施状況

① 基本研修

職位に応じた研修計画を基に、外部主催者による研修・講習会を受講するほか、内部講師による研修会を実施した。

ア　研修会・講習会受講実績

【施設職員】

No.	研修会・講習会名	主催者・講師	対　象	人数
1	新規採用正職員研修	一般財団法人札幌市スポーツ協会	新規採用一般職、職務限定職員	2
2	新規採用契約職員研修	一般財団法人札幌市スポーツ協会	新規採用契約職員	1
3	ウェブアクセシビリティ研修	有限会社リンクステージ	一般職、契約職員	1

No.	研修会・講習会名	主催者・講師	対　象	人数
4	コミュニケーション研修	学校法人産業能率大学	一般職、職務限定職員	3
5	新規採用職員フォローアップ研修	一般財団法人札幌市スポーツ協会	新規採用一般職	1
6	労働関係法の知識と実務研修	社会保険労務士事務所テラス	課長職	1
7	障がいのある方への対応研修	一般財団法人札幌市スポーツ協会	課長職、係長職、一般職、 職務限定職員、契約職員	8

【事務局職員】

No.	研修会・講習会名	主催者・講師	対　象	人数
1	財団・社団の理事・監事・評議員の変更手続き	全国公益法人協会	一般職	1
2	テールゲートリフター作業者必携研修	CIC 日本建設情報センター	一般職	1
3	ウェブアクセシビリティ研修	有限会社リンクステージ	一般職、契約職員	5
4	就業規則見直し総点検！の実務講座	社会保険労務士法人 MIKATA	一般職	2
5	財団・社団の最低限知っておきたい税務	全国公益法人協会	一般職、職務限定職員	2
6	運動従事者研修	TWIST Performance Japan	一般職	1
7	コミュニケーション研修	学校法人産業能率大学	一般職、職務限定職員	16
8	採用戦略強化セミナー	北海道石狩振興局	一般職	1
9	チームワーク研修	株式会社インソース	一般職	7
10	体系的な人材育成の「要」となるスキルマップ作成の勧め	株式会社インソース	一般職	1
11	カスタマーハラスメント対策とハラスメントのない職場内コミュニケーション	株式会社ヒューマンプレゼンツ	一般職	2
12	メンタル休職者支援セミナー	株式会社 Rodina	係長職、一般職	2
13	仕事と育児の両立支援セミナー	多田国際社会保険労務士法人	一般職	1
14	改正育児介護休業法実務解説セミナー	多田国際社会保険労務士法人	一般職	1
15	労働保険事務講習会	adswoff 社会保険労務士事務所	係長職	1
16	リスクマネジメント研修	学校法人産業能率大学研究所	係長職	8
17	発達障がいのある方へのスイミング指導者研修	北海道 YMCA	係長職	1
18	労働関係法の知識と実務研修	社会保険労務士事務所テラス	課長職	3
19	改正育児・介護休業法及び改正次世代育成支援対策推進法に係る説明会	北海道労働局　雇用環境・均等部	課長職、係長職	2
20	障がいのある方への対応研修	一般財団法人札幌市スポーツ協会	課長職、係長職、一般職、 職務限定職員、契約職員	37

イ　OJT 実施状況

No.	実施日	研修・講習会名	人数
1	６月 10 日	消防訓練・避難訓練（１回目）	13
2	８月 19 日	作業機械取扱研修(芝草機械編)	7
3	11 月 11 日	普通救命講習	10
4	12 月 19 日	除雪機取扱い研修	6
5	１月 20 日	事故対応シミュレーション研修・テロ対処訓練	12
6	１月 20 日	接客・接遇研修（受付職員対象）	5
7	２月３日	消防訓練・避難訓練（２回目）	6

② 専門研修

施設職員に必須とされる資格の取得及び更新とより高い水準の施設管理を実現するために必要な研修会・講習会を受講した。

ア　研修会・講習会受講実績

No.	研修会・講習会名	主催者	対　象	人数
1	フォークリフト運転技能講習	（有）試験場前自動車学園札幌クレーン特殊学校	係長職、一般職	2
2	ビジネス能力検定３級	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団	一般職、 職務限定職員	2
3	障害者職業生活相談員	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構	係長職	1
4	テールゲートリフターの操作に係る特別教育	篠路教習センター	一般職	1
5	初級パラスポーツ指導員養成講習会	（一社）札幌市障がい者スポーツ協会 （一社）札幌市パラスポーツ指導者協議会	一般職	2
6	安全運転管理者講習	北海道公安委員会	課長職	1
7	認定ファシリティマネージャー更新講習	FM 資格制度協議会	課長職	1

（４）運営協議会の実施

スポーツ交流施設の適切な管理運営の推進及び管理運営に関わる業務水準・市民サービスの維持向上を図るうえで、必要となる事項を協議、報告するために運営協議会を年４回実施した。

同協議会は、「札幌市」及び「指定管理者」のほか、当協会が提供するサービスへの意見や提案をいただくため「利用者団体」及び公平な立場から意見や提案をいただくため「外部有識者」を加えた委員構成により開催した。

＜報告事項＞	
報告事項 （全日程共通事項）	①　四半期のスポーツ施設利用状況 ②　苦情・要望の分析報告 ③　各施設の市民サービス向上や管理水準の維持向上に向けた取り組み ④　トップアスリート活用事業の状況 ⑤　スポーツ活性化・すそ野拡大事業の状況 ⑥　次世代トップアスリート輩出事業の取り組み状況 ⑦　その他

＜協議事項＞		
第１回	令和６年 7月 18 日	スポーツ医科学系のネットワーク輩出事業の取り組みについて
第２回	令和６年 10 月８日	Jr アスリート発掘育成事業における事業費確保について
第３回	令和７年 1月 27 日	次回以降の協議事項について
第４回	令和７年 3月 25 日	年間でおこなった協議の報告

＜協議会委員＞

・利用者団体：札幌市スポーツ少年団、札幌市中学校体育連盟、（一財）札幌市障がい者スポーツ協会、
当協会加盟競技団体
・外部有識者：北翔大学、北海道新聞社
・札　幌　市：スポーツ局スポーツ部部長
・指定管理者：（一財）札幌市スポーツ協会　事務局各部長

（５）収支報告

収支決算書　別紙のとおり

・様式１　総括表
・様式２　収入
・様式３　支出
・様式４　人件費
・様式５　物件費

（６）セルフモニタリングの実施状況

① 調査実施内容

実施内容	件数	調査方法
利用者満足度調査	505件	選択肢形式の設問（プリコード形式)、一部自由記述式の質問紙による調査
HP問い合わせフォーム	43件	ホームページ専用入力フォームでのメールによる調査
ご意見用紙による投書	1件	自由記述式の質問紙による調査

② 利用者満足度調査

ア　調査件数

夏季	冬季	計
251 件	254 件	505 件

イ　調査結果（回答数及び総数に対する割合）

設備・サービス満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1　利用時間帯(開館～閉館)の設定	199	181	98	15	4	8
	39.4%	35.8%	19.4%	3.0%	0.8%	1.6%
2　設備・サービスに見合った利用料金	196	164	118	15	3	9
	38.8%	32.5%	23.4%	3.0%	0.6%	1.8%
3　施設内の利用案内のわかりやすさ	173	171	144	6	0	11
	34.3%	33.9%	28.5%	1.2%	0.0%	2.2%

設備・サービス満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
4　ホームページのわかりやすさ、見やすさ	138	157	156	14	1	39
	27.3%	31.1%	30.9%	2.8%	0.2%	7.7%
5　運動器具・用具の種類の豊富さ	108	144	189	18	3	43
	21.4%	28.5%	37.4%	3.6%	0.6%	8.5%
6　運動器具・用具の数の豊富さ	112	136	184	25	3	45
	22.2%	26.9%	36.4%	5.0%	0.6%	8.9%
7　運動器具・用具の手入れの行き届き具合	122	141	193	10	2	37
	24.2%	27.9%	38.2%	2.0%	0.4%	7.3%
8　運動施設の照明の明るさ	144	166	149	27	7	12
	28.5%	32.9%	29.5%	5.3%	1.4%	2.4%
9　運動施設の室温の快適さ	136	141	156	47	10	15
	26.9%	27.9%	30.9%	9.3%	2.0%	3.0%
10　施設の全般的な清潔さ（トイレ･シャワー･更衣室）	156	161	154	9	2	23
	30.9%	31.9%	30.5%	1.8%	0.4%	4.6%
11　トイレ設備の快適さ（洋式、洗浄便座等）	173	181	130	7	3	11
	34.3%	35.8%	25.7%	1.4%	0.6%	2.2%
スタッフサービス満足度	大変よい	まあ良い	普通	あまり良くない	悪い	回答なし
1　施設スタッフの応対の迅速さ	242	176	77	3	0	7
	47.9%	34.9%	15.2%	0.6%	0.0%	1.4%
2　施設スタッフの応対の親切さ	257	167	69	5	0	7
	50.9%	33.1%	13.7%	1.0%	0.0%	1.4%
3　施設スタッフのスポーツに関する専門知識	180	135	153	3	0	34
	35.6%	26.7%	30.3%	0.6%	0.0%	6.7%
総合的満足度	とても満足	まあ満足	普通	少し不満	不満	回答なし
1　本施設に対する総合的な満足度について	160	249	80	7	1	8
	31.7%	49.3%	15.8%	1.4%	0.2%	1.6%

③ 要求水準に対する結果

項目	満足度	件数	計算方法	要求水準
接遇満足度	99.1%	1,157	【スタッフサービス満足度】 『大変よい』+『まあ良い』	80.0%
		1,168	【スタッフサービス満足度】 『大変よい』+『まあ良い』+『あまり良くない』＋『悪い』	
総合満足度	98.1%	409	【総合的満足度】 『とても満足』+『まあ満足』	80.0%
		417	【総合的満足度】 『とても満足』+『まあ満足』＋『少し不満』＋『不満』	

④ 要望等に対する改善

内容	対応
スピード練習の時間帯の子供たちが危ないので声掛けをお願いしたい。	スピード練習専属の指導員を配置し、職員巡回及び危険周知を強化した。
人工芝がけずれていて毎度服にものすごい量がつくのでそこだけ気になります。	スイーパーを用いて月１回以上の清掃を行っているが、経年劣化のためどうしても人工芝が抜けてしまう状況が続いているため、服への付着が気になった際は、受付窓口にて人工芝を払うブラシの貸出をおこなった。

2　施設・設備の維持管理に関する業務

（1）防災業務

① 避難訓練実施状況

災害発生時において迅速に避難誘導対応ができるよう、施設における消防計画に基づき、避難訓練を実施した。

No	実施日	参加者			人数
		正職員	契約職員	パートタイム職員	
1	6月10日	5	4	4	13
2	2月3日	3	3	0	6

（2）事故対応に関する業務

事故防止及び事故や傷病発生時等の様々な想定のもとでの正しい対応方法をシミュレーションし、迅速な対応を行うための研修を行った。また、熱中症対策として、環境省の厚さ指数予測値を用いて、教室の休講基準を設けて受講者が安心して教室を受講できる環境を整えた。

実施日	内容	参加者			人数
		正職員	契約職員	パートタイム職員	
1月20日	雪まつりに備えたテロ対処訓練	6	1	5	12

（3）清掃業務

施設の快適な環境を保ち要求水準を保つため、札幌市入札参加資格者の中から建物清掃業を持つ業者に委託し、塵芥収集及び再生可能品については、指定する廃棄物運搬処理登録業者に委託し、運搬処理した。

（4）警備業務

施設の保安管理のため札幌市入札参加資格者の中から警備業を持つ業者に委託し、機械警備による警備体制とした。

また、セキュリティ強化を目的として、職員通用口に暗証番号入力による入出管理とするための電気錠を設置と、現金管理のリスク軽減のための現金輸送警備を導入している。

（5）設備維持管理及び保守点検

機械設備の良好な運転及び不良個所を早期に発見し、また関係法令で定められた法定点検を実施するため下記点検をメーカー等の専門業者に委託した。（事務局発注分）

No.	名　称	業者名
1	防災設備保守点検等業務	㈱フクリ企画サービス
2	電気保安業務	北海道でんき保安協会
3	自動ドア点検	ナブコシステム㈱
4	ボイラー等点検	東テク北海道㈱
5	自動制御機器点検	㈱オーテック
6	エレベーター保守点検	三菱電機ビルソリューションズ㈱
7	吸収式冷温水器保守点検	荏原冷熱システム㈱
8	札幌市体育施設建築基準法点検	㈱ミスターブルー

（６）設備運転管理業務

機械設備の運転状況の監視及び計器類の測定を一体管理するため、札幌市入札参加資格者の中から建物設備等保守管理業を持つ業者に委託した。

（７）修繕対応状況

施設機能の保持のために各施設において以下のとおり実施した。（保全に係る業務として発注したものを含む）　　（税抜）

協定額	実績額
3,000,000 円	3,043,040 円

３　事業の計画及び実施に関する業務

（１）施設を戦略的に活用した事業

施設の特徴を活かし、指定管理施設において横断的かつ中長期的に事業展開することでトップアスリートを輩出する事業を行うとともに、トップアスリートを活用した事業を行うことで、地域スポーツの活性化･すそ野拡大につなげるといった好循環をつくるため、以下の事業を行った。

① 次世代トップアスリート輩出事業

スポーツ教室に参加する子どもたちやスポーツ少年団をはじめ地域で活動する子どもたちから、将来有望な子どもを見出す発掘事業と育成選手の候補生としてトレーニングを行う発掘プロジェクト、各競技種目の選手強化を行う育成事業を実施した

ア　さっぽろジュニアアスリート発掘事業

当協会の自主事業である多種目体験事業をはじめとする教室受講生や施設利用者、スポーツに関心を持つ小学生を対象としたスポーツ能力測定会を実施した。

【令和６年度スポーツ能力測定会】

測定内容：30m スプリント、垂直飛びなど

申込者数：750 人　　参加者数：482 人　　選抜者数：８人

イ　さっぽろジュニアアスリート発掘プロジェクト

スポーツ能力測定会で優秀な成績を収めた子供たちを育成事業候補生として、子どもたちの適正を見出し、能力を伸ばすトレーニングを実施した。

発掘プロジェクト生：23 名

【事業内容】

内容		実施施設
発掘プロジェクト選考会		北ガスアリーナ札幌 46、中島体育センター
トレーニング		中島体育センター、スポーツ交流施設、美香保体育館　他
種目練習	カーリング	どうぎんカーリングスタジアム
	陸上	円山総合運動場、スポーツ交流施設
	バドミントン	中島体育センター　他
	テニス	スポーツ交流施設屋外テニスコート
合同研修会		北区体育館
研修会	トレーニング理論	Zoom
	スポーツ栄養学	中島体育センター、Zoom
	アスリートトーク	平岸庭球場
面談		Zoom

ウ　さっぽろジュニアアスリート育成事業

加盟競技団体からの推薦を受けた選手たちに対し、継続的なトレーニングや合宿などを実施。国外・国内の大会で優秀な成績を収め、国際舞台で活躍できる選手育成を行った。

対象者：８種目　計 96 名

【育成選手の主な競技成績】

スノーボード	
FIS ワールドカップ　スノーボードハーフパイプ	
工藤　璃星　※	５位
山田　琉聖　※	３位
スキージャンプ	
JOC ジュニアオリンピック	
佐藤　柚月	優勝
佐々木　星語	７位
カーリング	
北海道ジュニアカーリング選手権	
磯野　葵　川合　伸弥	優勝
大内　柊斗　竹本　聖悟	
フリースタイルスキー	
ハルビン冬季アジア大会 エアリアル種目	
中川　結太	３位
世界ユニバーシティ冬季大会	
川岡　士真　※	３位
ノルディックコンバインド	
FIS ノルディックスキー選手権大会	
葛西　優奈　※	優勝
葛西　春香　※	３位
JOC ジュニアオリンピック	
藤原　柚香	優勝
全日本選手権大会	
藤原　柚香	優勝
陸上	
第 51 回全日本中学陸上選手権大会　女子走幅跳	
黒館　未采	４位
第 78 回国民スポーツ大会　男子 3000m	
吉田　星　※	優勝

② トップアスリート活用事業

トップアスリートと身近に触れ合う機会を設けることで、スポーツへの興味・関心を高めるきっかけとなる事業を実施した。

ア　トップリーグチームと連携したアカデミー事業

団体名/種目	施設名	コース数	受講者数
日本ハムファイターズ （野球）	手稲区体育館	1コース	20名
日本ハムファイターズ （フィジカルアカデミー）	北ガスアリーナ札幌46	3コース	33名
レバンガ北海道 （バスケットボール）	手稲区体育館、清田区体育館温水プール、北ガスアリーナ札幌46、 西区体育館温水プール	8コース	199名
エスポラーダ北海道 （女子フットサル）	北ガスアリーナ札幌46、南区体育館	2コース	24名
北海道コンサドーレ札幌 （サッカー）	手稲区体育館	2コース	9名
デンソーエアリービーズ （バレーボール）	中島体育センター	2コース	26名

イ　教室・イベント

イベント名/団体名	施設名	コース数	受講者数
かけっこ教室 （北風　沙織　氏）	東区体育館、豊平区体育館、南区体育館、西区体育館・温水プール、中島体育センター、清田区体育館・温水プール、手稲区体育館	7コース	406名
NTT東日本バドミントン部教室 （NTT東日本バドミントン部）	北区体育館	1コース	64名
アイスホッケー教室 （鈴木　雄大　氏）	星置スケート場	1教室	14名
プロスポネットSAPPOROチャレンジフェスタ （日本ハムファイターズ、エスポラーダ北海道、北海道コンサドーレ札幌）	北区体育館 （受託事業）	1コース	156名

ウ　多種目体験教室

指導者名/種目	施設名	実施回数	受講者数
北風　沙織　氏 （かけっこ）	厚別区体育館、手稲区体育館、清田区体育館温水プール、中島体育センター	5回	88名
A-bank北海道 （かけっこ）	豊平区体育館、西区体育館温水プール、白石区体育館、つどーむ	5回	105名

指導者名/種目	施設名	実施回数	受講者数
レバンガ北海道 （ミニバスケットボール）	北区体育館、東区体育館、白石区体育館、清田区体育館温水プール、南区体育館、北ガスアリーナ札幌 46	12 回	214 名
サフィルヴァ北海道 （フットサル）	白石区体育館、南区体育館、宮の沢屋内競技場、中島体育センター	９回	236 名
日本ハムファイターズ （野球）	麻生球場、白石区体育館、円山総合運動場	６回	175 名
阿部　雅司　氏	DO スポ！シニア健康塾 オリンピックミュージアムツアー	1 回	14 名

③ スポーツ活性化・すそ野拡大事業

一年を通じて幅広い世代とニーズに対応したスポーツ教室や体験会の実施に加え、施設が持つ機能を最大限に発揮した多種目体験事業によってスポーツの活性化・すそ野拡大を図った。

ア　事業実施数及び参加者数

一般事業		通年ｽｸｰﾙ型事業		施設間合同事業		大会		合計	
事業	参加者	事業	参加者	事業	参加者	事業	参加者	事業	参加者
46	804					1	88	47	892

イ　スポーツ教室の指導員配置

各競技団体より指導員を推薦していただき、卓球やバドミントンをはじめとする球技、スケート、格技系の初心者から上級者まで幅広いレベルの教室を実施した。

【令和６年度実績】

競技団体名	事業数	指導員数
札幌卓球連盟	295	323
札幌地区バドミントン協会	180	226
北海道バスケットボール協会	46	79
札幌スケート連盟	37	77
札幌カーリング協会	9	10
札幌ボクシング協会	7	7
札幌バレーボール協会	6	8
札幌ハンドボール協会	4	8
札幌弓道連盟	4	4
札幌アーチェリー協会	2	4
札幌ソフトバレーボール連盟	1	2
札幌ミニバレー協会	1	2
札幌レスリング協会	1	2
日本ラクロス協会	1	2
北海道ラグビーフットボール協会	1	2
北海道ドッジボール協会	1	2
北海道キンボールスポーツ連盟	1	2
合　計	597 事業 （全 6,083 事業中）	760 名

ウ　多種目体験事業の実施

ａ．DO！スポ KIDS（対象：小学１年生～小学３年生）

スポーツ交流施設のみならず、当協会が管理する他のグループも含めた複数の施設を会場とし、「打って」「踊って」「泳いで」「滑って」をテーマに、誰もが気軽に様々なスポーツを体験するとともに、各種目の魅力を知り、個人に合ったスポーツを始めるきっかけを提供する事業を実施した。

コース名	実施期間	実施回数	受講者数
北コース	５月上旬～３月中旬	全 30 回	18 名
東コース			24 名
白石コース			22 名
豊平コース			21 名
厚別コース			19 名
清田コース			16 名
南コース			10 名
中央コース			14 名
手稲コース			22 名
西コース			23 名

ｂ．DO スポ！シニア健康塾（対象：55 歳以上の方）

シニア向けの健康づくりに関する多様なプログラムを通じて、健康寿命を延ばし充実した生活が送れるよう、軽スポーツやフィットネス、文化教室など健康に関する様々なプログラムにより、健康に関する知識や実践力を身に付けるきっかけを提供する事業を実施した。

コース数	実施期間	実施回数	受講者数
中島コース	５月中旬～３月上旬	全 20 回	18 名

エ　ウインタースポーツ塾の実施

市内在住の小学１～６年生を対象に、幅広くウインタースポーツに親しむきっかけをつくり、ウインタースポーツ体験者が増加することを通じて、ウインタースポーツ人口の裾野拡大を図ることを目的に実施した。

令和６年度は、月寒体育館の名誉館長「藤本 那菜 氏」、どうぎんカーリングスタジアムの名誉館長「小笠原 歩 氏」、オリンピアンの「阿部 雅司 氏・原田 雅彦 氏」がゲストティーチャーとして指導した。

実施期間		会　場	種　目	参加者数
夏季	8 月上旬 （4 日間）	月寒体育館	フィギュアスケート	235 人
			アイスホッケー	106 人
			ショートトラック （スピードスケート）	97 人
			小　計	438 人

冬季	1月上旬 （5日間）	どうぎんカーリングスタジアム	カーリング	198人
		月寒体育館	フィギュアスケート （スケート入門）	216人
			ショートトラック （スピードスケート）	42人
			アイスホッケー	48人
		藤野野外スポーツ交流施設	スノーボード	153人
		宮の森ジャンプ競技場	スキージャンプ	97人
			クロスカントリースキー	76人
			小　計	830人
			合　計	1,268人

（2）市民サービス向上

① 受講料のWEB決済の導入

スポーツ教室の受講料支払方法は、納入手続きのための来館が不要となり、受付窓口の混雑緩和につなげることを目的に、全施設においてWEB 決済（クレジットカード決済・コンビニ決済）を導入した。

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期～	平均
71.5%	68.1%	61.3%	59.3%	80.7%	66.5%

② 企業や福利共済団体と連携したスポーツ教室の受講料助成制度の導入

多くの方に当協会が開催している教室を知っていただき、施設の利用促進につなげるため、企業や福利共済団体と連携し、スポーツ教室の受講料や体験受講料の助成制度を導入した。

【実施内容】（協会全体）

団体名	実施期間	内　容	件数	助成金額
さぽーとさっぽろ （札幌市中小企業共済センター）	R6年4月～ R7年3月	教室受講料 400円助成	864件	345,600円
JAF（日本自動車連盟）		教室無料体験	147件	73,500円
札幌市福利厚生会	R7年2月22日	ボディコンバット 無料体験	40件	20,000円

③ 供用時間の拡大の実績

ア 競技大会開催のための供用時間の拡大

大会等の開催においては、事前設営に時間を要する場合があるため、開館時間の繰り上げや前日準備での閉館時間の繰り下げなど競技団体のニーズに柔軟に対応することで、競技団体をサポートするとともに、他の利用者が最大限利用できるよう供用時間を拡大した。

イ 受講生のニーズに合わせた供用時間の拡大

小学生の夏休み・冬休み期間や土・日曜日などに教室を実施する場合は、施設の供用時間にとらわれず、受講者のニーズに合わせた供用時間の拡大を実施した。

④ 用具の貸し出し

施設名	項目	貸出用具
スポーツ交流施設	専用利用	コーン・マーカー・運動会用具　他

⑤ スポーツの日無料開放実績

10 月第２月曜日の「スポーツの日」には施設の特徴を生かした種目を設定し、スポーツへの参加機会の拡大を図ることを目的に無料開放を実施した。

開放形態	利用種目	利用人数
個人利用	トレーニング・ランニング・パークゴルフ	241 名
専用利用	テニス・ソフトテニス	108 名

⑥ ウオーキングステーションの設置

いつでも誰もが気軽に立ち寄ることができ、楽しく歩きながら「世界共通のパスポート＆歩行記録認定」が受けられるウオーキングの駅として、１つのステーション、３コースを提供した。

ステーション	イヤーラウンドコース	参加者数
つどーむ	百合が原公園コース（約 10 ㎞）	135 人
	パープルロードコース（約 10 ㎞）	34 人
	つどーむから豊平公園温水プールへのコース（約 13 ㎞）	32 人
	合計	201 人

⑦ その他利用者サービス向上につながる取組

利用者の利便性向上や運動しやすい環境作りのために、各施設で下記を取り組んだ。

内容
ミーティングルームに鏡の設置

（３）障がい者スポーツの普及

① パラスポーツ体験事業の開催

身近にパラスポーツを感じていただき、障がいのある方が「する」きっかけとなる他、障がいのない方が「知る」きっかけとなる事業を協会管理施設で実施した。

事業名	体験種目	体験者数
区体育館等における障がい者スポーツ体験会	ボッチャ・フライングディスク・ブラインドサッカー・ローラーシットスキー・クロリティ・ビームライフル・車いすバスケ・車いすラグビー・みんなの遊び場・チアダンス・ゴールボール・デフ卓球・デフバドミントン	577 名
シットスキー・バイスキー体験会	シットスキー・バイスキー	シットスキー　６名 バイスキー 17 名

事業名	体験種目	体験者数
冬季パラスポーツ体験会	パラアイスホッケー・シットスキー・車いすカーリング・デフカーリング	ﾊﾟﾗｱｲｽﾎｯｹｰ 96 名 シットスキー150 名 車いすｶｰﾘﾝｸﾞ 49 名 デフカーリング 58 名

② スポーツイベントや商業施設でのパラスポーツ体験会の運営

協会が持つパラスポーツ体験会の事業運営ノウハウを活用し、当協会が主催する札幌国際スキーマラソン大会や商業施設などで行われるイベントにおいて事業運営や運営協力をした。

事業名	実施回数	体験者数
札幌ウェルネスイベント	10 回	2,250 名
ウインタースポーツフェスティバル	２回	230 名
第 45 回札幌国際スキーマラソンパラスポーツ体験	１回	４０名
さっぽろスノースポーツパーク 2025	３回	610 名

４　施設の利用に関する業務

（１）施設利用者数

施設名	個人利用（人）	専用利用（人）	合　計（人）
スポーツ交流施設	82,871	678,075	760,946
屋内グラウンド	72,973	661,248	734,221
屋外テニスコート	－	8,431	8,431
パークゴルフ場	9,898	－	9,898
屋外球技場	－	5,734	5,734
イベント広場	－	2,662	2,662
合計	82,871	678,075	760,946
（前年度）	77,533	824,188	901,721

（２）種目別利用実績

種目	人数（人）	種目	人数（人）
グランドゴルフ	370	フラダンス	452
ゲートボール	248	ボクササイズ	339
サッカー	38,950	ヨガ	1,681
その他	566,558	ランニング	59,075
その他ダンスフィットネス	510	レクレーション	4,810
その他球技	1,217	会議	1,083
ソフトテニス	3,260	健美操	1,247
ソフトボール	980	太極拳	515
テニス	19,269	野球	16,134
トレーニング	9,826	陸上	2,057
パークゴルフ	9,899	観客	0
バウンドテニス	305		
バドミントン	183	総　計	
フットサル	21,978	760,946	

■種目補足

種目	補足
その他	展示会、中古車市、さっぽろ雪まつり、運動会　他
その他ダンスフィットネス	ZUMBA、サーキットエクササイズ
その他球技	フリースペース

5　自主事業の実施状況

（1）新たな自主事業の実績

① 新規教室

事業名	概要
ゼロトレ	16 歳以上を対象に「ゼロトレ」有資格者の指導員による 45 分間の体験会を実施し好評であった、縮んだ身体の各部位を元(ゼロ)の位置に戻すことで身体を軽くするトレーニング教室を実施した。

② 大会・イベント

事業名	概要
第 17 回つどーむ杯 パークゴルフ大会	パークゴルフ愛好者（16 歳以上）を対象に、市民の健康増進と親睦及び地域交流を深めるため実施した。

様式1　令和6年度　札幌市スポーツ交流施設　収支決算書(総括表)

単位:円

1　収入

税込

項目		予算額	決算額	摘要
指定管理業務	指定管理費	86,911,000	93,761,000	
	利用料金収入	117,475,000	121,042,800	
	雑収入	-	-	
	その他収入	-	-	
	指定管理収入小計 (A)	204,386,000	214,803,800	
自主事業収入 (B)		8,689,000	9,780,871	
受託事業収入 (C)		-	-	
収入計 (A)+(B)+(C)		213,075,000	224,584,671	

2　支出

大項目	中項目	小項目	予算額	決算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	4,980,000	4,938,025	
		物件費	958,000	812,467	
		小計	5,938,000	5,750,492	
	事業費	人件費	65,193,000	62,233,767	
		物件費	177,958,000	166,686,039	
		小計	243,151,000	228,919,806	
	指定管理支出小計 (D)		249,089,000	234,670,298	
自主事業	管理費	人件費	120,000	125,515	
		物件費	22,000	20,653	
		小計	142,000	146,168	
	事業費	人件費	1,492,000	1,604,467	
		物件費	4,686,000	4,800,699	
		小計	6,178,000	6,405,166	
	自主事業支出小計 (E)		6,320,000	6,551,334	
受託事業	管理費	人件費	-	-	
		物件費	-	-	
		小計	-	-	
	事業費	人件費	-	-	
		物件費	-	-	
		小計	-	-	
	受託事業支出小計 (F)		-	-	
支出計 (D)+(E)+(F)			255,409,000	241,221,632	

3　収支

項目	予算額	決算額	備考
指定管理業務収支差 (A)-(D)	-44,703,000	-19,866,498	
自主事業収支差 (B)-(E)	2,369,000	3,229,537	
受託事業収支差 (C)-(F)	-	-	
施設収支合計	-42,334,000	-16,636,961	自主財源からの繰入

自主事業等による利益還元	-	-	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)	29,000	33,000	法人税

注)
1　施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
2　収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
3　支出の表は、様式3に基づき作成してください。
4　収支の表の法人税等欄の額が確定していない場合は、予想される税金の額を記載してください。

様式2　令和6年度　札幌市スポーツ交流施設　収支決算書(収入)

1.利用料金収入

単位:円
「税込」

施設名	料金区分	決算額	備考
札幌市スポーツ交流施設	個人利用	14,585,240	
	専用利用	106,457,560	
	計	121,042,800	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
	計	－	
総計		121,042,800	

注) 1　行が足りない場合は、適宜追加してください。
　　2　原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)

2.指定管理業務の事業収入、自主事業収入、受託事業収入

単位:円
「税込」

項目	事業名	決算額	摘要
指定管理業務	指定管理費	93,761,000	
	雑収入	-	
	その他収入	-	
	指定管理業務事業収入計	93,761,000	
自主事業	地域スポーツ普及振興事業	6,452,592	
	健康・体力づくり相談事業	-	
	健康・スポーツ情報提供事業	-	
	収益事業	3,328,279	
	自主事業収入計	9,780,871	
受託事業			
	受託事業収入計	-	
事業収入計		103,541,871	

注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
3 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)を記載してください。

様式3　令和6年度　札幌市スポーツ交流施設　収支決算書(支出)

単位:円

「税込」

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	4,222,934	49,231,536	107,339	1,256,287	−	−
	臨時雇賃金	−	4,426,770	−	118,345	−	−
	法定福利費	664,220	7,479,074	16,883	200,117	−	−
	福利厚生費	50,871	1,096,387	1,293	29,718	−	−
	人件費計	4,938,025	62,233,767	125,515	1,604,467	−	−
物件費	仕入高	−	−	−	13,796	−	−
	報酬	51,644	193,970	1,312	2,080,582	−	−
	教育研修費	−	247,961	−	−	−	−
	報償費	−	3,574	−	158,657	−	−
	会議費	2,780	277	71	28	−	−
	交際費	100,952	19,064	2,567	443	−	−
	旅費交通費	15,890	153,661	404	5,413	−	−
	通信運搬費	6,620	501,935	168	54,256	−	−
	減価償却費	−	1,030,392	−	137,744	−	−
	消耗什器備品費	−	602,702	−	2,643	−	−
	消耗品費	29,475	3,330,358	750	131,182	−	−
	修繕費	1,689	3,435,542	43	4,048	−	−
	工事請負費	−	−	−	−	−	−
	印刷製本費	14,182	16,282	360	2,772	−	−
	燃料費	−	107,405	−	657	−	−
	光熱水費	−	78,230,617	−	−	−	−
	賃借料	9,805	697,303	251	90,264	−	−
	保険料	13,457	336,305	342	23,479	−	−
	諸謝金	375,395	293,841	9,541	39,604	−	−
	広告宣伝費	101,941	246,155	2,592	746	−	−
	租税公課	21,397	10,914,156	543	34,343	−	−
	負担金	35,768	−	909	−	−	−
	支払寄付金	−	−	−	−	−	−
	委託費	27,222	60,321,848	692	1,153,446	−	−
	支払給付金	−	−	−	−	−	−
	支払利息	−	5,856	−	138	−	−
	支払助成金	−	−	−	−	−	−
	支払手数料	2,189	94,271	55	132,293	−	−
	雑費	2,061	6,506	53	536	−	−
	その他(消費税納付)	−	5,896,058	−	733,629	−	−
	物件費計	812,467	166,686,039	20,653	4,800,699	−	−
支出計		5,750,492	228,919,806	146,168	6,405,166	−	−

注)
1　行が足りない場合は、適宜追加してください。
2　原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
3　管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
4　受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
5　自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5　令和6年度収支決算書(支出)の内訳(物件費)

単位:円
「税込」

1　指定管理業務

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	-	
報酬	51,644	193,970	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
教育研修費	-	247,961	・事業費～本部経費按分(6.63%)
報償費	-	3,574	
会議費	2,780	277	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～本部経費按分(6.63%)
交際費	100,952	19,064	・管理費～本部経費按分(6.63%)
旅費交通費	15,890	153,661	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
通信運搬費	6,620	501,935	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
減価償却費	-	1,030,392	・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
消耗什器備品費	-	602,702	・事業費～本部経費按分(6.63%)
消耗品費	29,475	3,330,358	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
修繕費	1,689	3,435,542	・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
工事請負費	-	-	
印刷製本費	14,182	16,282	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～本部経費按分(6.63%)
燃料費	-	107,405	・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
光熱水費	-	78,230,617	・事業費～施設経費
賃借料	9,805	697,303	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
保険料	13,457	336,305	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
諸謝金	375,395	293,841	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
広告宣伝費	101,941	246,155	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～本部経費按分(6.63%)

租税公課	21,397	10,914,156	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
負担金	35,768	－	・管理費～本部経費按分(6.63%)
支払寄付金	－	－	
委託費	27,222	60,321,848	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
支払給付金	－	－	
支払利息	－	5,856	・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
支払助成金	－	－	
支払手数料	2,189	94,271	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
雑費	2,061	6,506	・管理費～本部経費按分(6.63%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(6.63%)
その他	－	5,896,058	支払消費税
計	812,467	166,686,039	

注)
1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

単位:千円
「税込」

2 自主事業

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
仕入高	-	13,796	・事業費～施設経費
報酬	1,312	2,080,582	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
教育研修費	-	-	
報償費	-	158,657	・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
会議費	71	28	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～本部経費按分(1.07%)
交際費	2,567	443	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～本部経費按分(1.07%)
旅費交通費	404	5,413	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～本部経費按分(1.07%)
通信運搬費	168	54,256	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
減価償却費	-	137,744	・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
消耗什器備品費	-	2,643	
消耗品費	750	131,182	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
修繕費	43	4,048	
工事請負費	-	-	
印刷製本費	360	2,772	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
燃料費	-	657	・事業費～本部経費按分(1.07%)
光熱水費	-	-	・事業費～施設経費
賃借料	251	90,264	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
保険料	342	23,479	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
諸謝金	9,541	39,604	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
広告宣伝費	2,592	746	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～本部経費按分(1.07%)

租税公課	543	34,343	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
負担金	909	－	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～本部経費按分(1.07%)
支払寄付金	－	－	
委託費	692	1,153,446	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
支払給付金	－	－	
支払利息	－	138	・事業費～本部経費按分(1.07%)
支払助成金	－	－	
支払手数料	55	132,293	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～施設経費及び本部経費按分(1.07%)
雑費	53	536	・管理費～本部経費按分(1.07%) ・事業費～本部経費按分(1.07%)
その他	－	733,629	支払消費税
計	20,653	4,800,699	

注)
1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
2 原則として消費税込みで記載してください。(税抜きの場合はその旨記載してください。)
3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。